

平成23年度

市教研（特別活動・学級経営部会）授業研

学級活動指導案

『なぜ、わたしたちは働くのだろう』

研究主題	自発的・自主的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成 ～望ましい集団活動を通して、児童生徒の自主的・実践的態度を育成する 指導の在り方、及び学級集団をめぐる今日的な課題への対応～
------	--

研究仮説	(1) 学級活動等の集団活動において、学級の実態を踏まえ、一人ひとりの児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的に掴ませ、活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。 (2) 学級経営を推進する上で生じる諸問題について、その原因を把握し、効果的な方法によって適切に対応すれば、児童生徒の理解が得られ、円滑な学級経営が営まれ、集団活動が一層活発になるであろう。
------	---

日 時	平成23年11月15日（火） 14:00～14:50
-----	----------------------------

授業クラス	1年6組
-------	------

場 所	1年6組教室（南棟3階）
-----	--------------

授 業 者	鈴木暁菜
-------	------

協 議 会	15:10～16:30
-------	-------------

場 所	図書室（北棟南棟連絡通路沿い2階）
-----	-------------------

千葉市立花園中学校

学級活動指導案

1. 題材

『なぜ、わたしたちは働くのだろう』（中学生活と進路 p. 16, 17）

2. 題材設定の理由

(1) 学習指導要領より

特別活動の目標と各活動・学校行事の目標は、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うことである。その目標を達成するために、(1)学級や学校の生活づくり、(2)適応と成長及び健康安全、そして、(3)学業と進路という学級活動の内容がある。今回の題材は、(3)にあたる。学ぶことと働くことの意義の理解、進路適正の吟味と望ましい勤労観・職業観の形成を通して、最終的には主体的な進路の選択と将来設計をさせたい。

(2) 本題材のねらい

生徒たちの多くは、「いい高校」に行きたいと思っているだろう。しかし、最終的な目標が志望校合格であり、その後の進路については展望がなかったり、学力が高い学校が「いい高校」と判断して入学したが、自分の希望する進路に適していなかったりということは、よく耳にする。集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育て、学ぶことや働くことの意義についての学習を1学年で行い、中学校三年間を見据えて計画的にその後も進路学習を行い、自己を生かせる進路選択が主体的にできるようにしたい。

(3) 生徒の実態（アンケートより）・担任の願い

1年6組は、男子18名、女子19名、合計37名で構成されている。担任から見て、真面目で素直な生徒が多い。教科の授業では積極的な挙手発言ができる生徒も多いが、道徳や話し合い活動の時間では積極的に意見を発表できる生徒は少ない。

①SIGNALから

9月下旬に実施した学級用集団規範測定（SIGNAL※）によると、自由に発言できる雰囲気があるという項目に肯定的な回答をしたのは、54.1%だった。また、話し合いや活動には班で取り組むと回答したのは、89.2%だったことから、個人が大勢の前で発言することはできなくても、班など小グループ内ならば積極的になれる生徒は、多いことがわかる。また、学級では自由に発言できないと感じている生徒は、自分の発言が知らないところで言いふらされて噂になるなどという、思春期特有の人間関係を懸念していると考えられる。行事や学級の活動に積極的な学級であると感じている生徒が64.9%と低いのは、10月28日に行われた合唱コンクールに臨む態度にもよく表れていた。朝早く集まって練習することや、昼休み、放課後の練習に非常に消極的な参加態度の生徒が多かった。また、消極的な生徒に限ってネガティブな発言をよくするので、そういう仲間によって学級が乱されていると感じている生徒がいるのか、リーダーはみんなをまとめている(91.1%)のに、みんなはリーダーに協力的である(78.4%)

と感じる生徒は、少なめである。

以下がS I G N A Lの結果と、進路や職業に関するアンケートの結果である。

※（参考） 9月に実施した学級用集団規範測定（S I G N A L）の結果

	設問	肯定的回答率%
1	明るい雰囲気にしてくれる人が多い	83.8
2	思いやりのある人が多い	89.2
3	行事や学級の活動に積極的な学級	64.9
4	学級の問題は話し合いで解決する	81.1
5	担任とのコミュニケーション	75.7
6	先生の指示がなくても行動できる	70.3
7	自由に発言できる雰囲気がある	54.1
8	リーダーはみんなをまとめている	91.9
9	みんなはリーダーに協力的である	78.4
10	学級の仕事が一人一人決まっている	89.2
11	話し合いや活動には班で取り組む	89.2
12	授業態度はしっかりしている	70.3
13	学級での仕事は進んで行く	86.5
14	あいさつをすすんでしている	94.6
15	掃除は一生懸命取り組んでいる	83.8
16	時間を守っている	86.5
17	みんなで使うものは大切に扱っている	94.6
18	教室は整頓されている	97.3

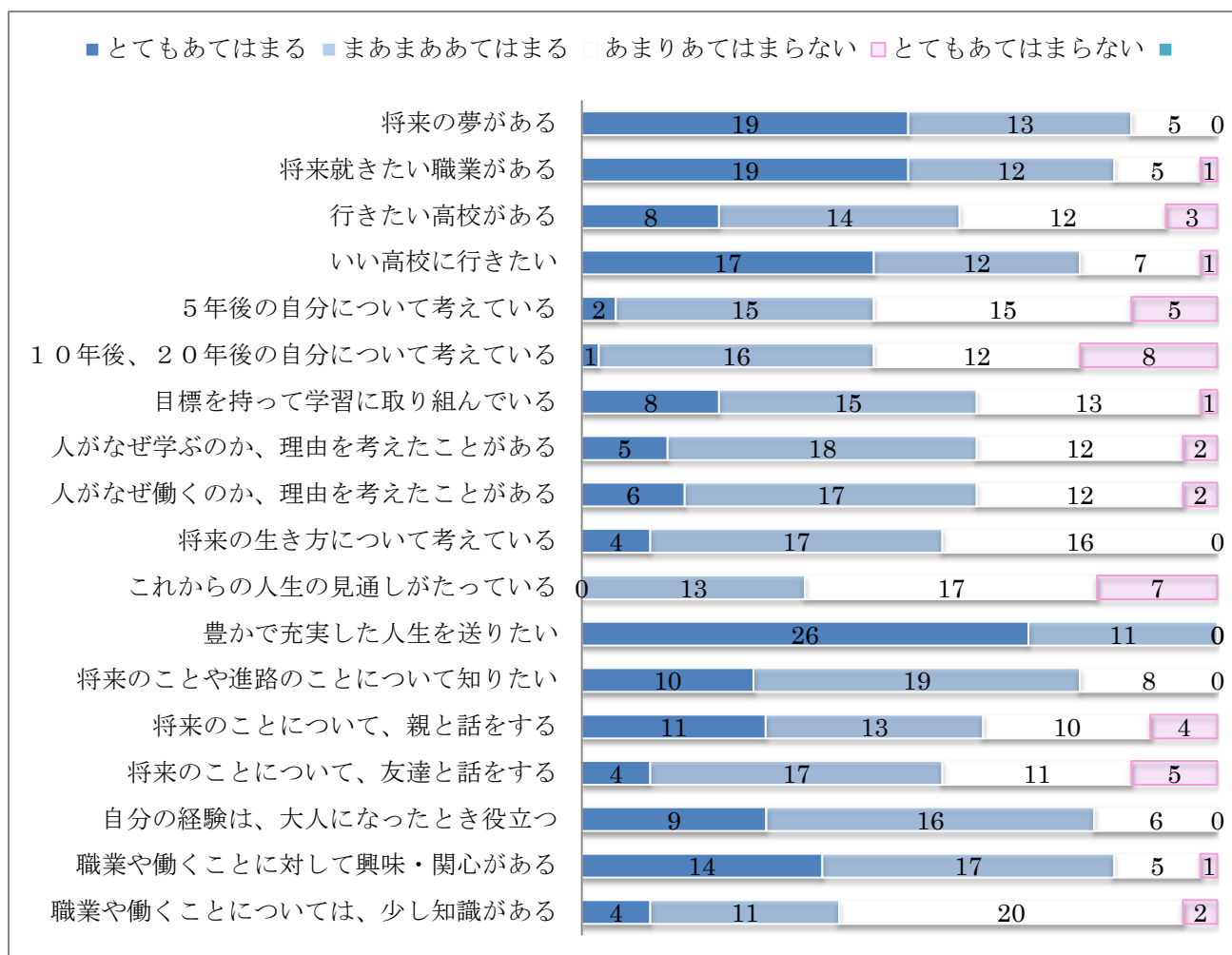
②進路や職業に関するアンケートから

10月上旬に、進路や職業に関するアンケートを行った（※アンケートは本指導案の最後のページに添付）。このアンケートの結果から、全ての生徒は、自分の人生を豊かで充実したものになりたいという願望があることがわかる。将来の夢があり、就きたい職業もあり、自分の経験は大人になったときに役立つと考えている生徒が多く、いい高校に行きたい、職業や働くことについてもっと知りたいと、進路学習への関心はあるようだ。ただ、具体的に5年後や10年後、20年後の自分について考えている生徒は少なく、進学や就職に関する知識はないと感じている。中には、高校受験を経験した、または経験する兄姉がいる生徒がおり、家庭で多少、親と兄姉の会話などを聞いたりしているであろう。また、部活動や進学塾などで関わりのある先輩などから少し情報を手に入れている生徒もいると考えられる。

自由記述の、「いい高校」とはどういう高校ですか、という質問に対しては、予測通り、偏差値や学力が高い高校から、制服がオシャレ、自分の参加したい部活動が強い、いじめがない、不良がない、設備が整っている、清潔である、授業がわかりやすい、家から近い、という回答や、自分の将来の夢を応援してくれる、自分に合っているなどの回答、または具体的な高校

名が挙げられるなど、様々であった。以上のことから、現段階でのそれぞれのビジョンは多種多様であることから、なぜわたしたちは働くのだろうという問いかけに対しての考えも、多種多様な回答が得られ、友達の意見を聞くことが考えを深めることができることが期待される。

※10月上旬に実施した、進路や職業に関するアンケート結果



生徒は、自分たちが現在学んでいることや、経験している様々なことが、大人になったときに役立つということは少なからず感じているだろう。しかし、自分の将来の職業について真剣に考えたり、働く目的について考えたりということには至っていない。そこで、進路学習の初期段階として、働く目的の多様な面について考えさせ、働くことそのものについてや、職業への興味・関心を高めさせたい。そして、自主的・自発的に進路を選択できる能力を養ったり、勤労観・職業観の形成に役立てたりしていきたい。

3. 研究仮説との関わり

将来の夢があって、就きたい職業もあるが、10年後や20年後の自分について考えてはいない、進路について関心はあっても知識がない、という生徒の実態から、働く目的や意義を考え、興味・関心を高めるとともに、働くことの重要性を理解するために、本時の授業を行う。

生徒に、現在の自分たちの課題を掴ませ、本時の学習に取り組ませて、活動での達成感を高め、自主的・実践的態度を身につけさせたい。

生徒の、話し合いや活動には班で取り組むことが多く、学級では自由に発言できる雰囲気がないと感じている実態から、まずは小グループ内での意見発表・交換を行い、積極的に参加させる形にした。また、生徒が自己の活動を振り返るために、本時の学習に臨む態度を自己評価できるよう、ワークシートにその項目を作った。

4. 指導の過程

(1) 指導計画

日付	活動の時間	活動内容
9月 8日	朝の会	「SIGNAL」(学級用集団規範測定)
10月13日	朝の会	「進路や職業に関するアンケート」
11月15日	学活	『なぜ、わたしたちは働くのだろう』(本時) 自分が働く理由について考えてみる。友達と意見交換する。
11月24日	学活	『身近な職業調べ』 身近な大人に、その人の職業についてインタビューして、感じたことや考えたことを情報交換する。
12月 8日	学活	『未来の履歴書』 来年の自分、5年後、10年後、20年後の自分は、どんなことをしているか、または、していきたいかを考える。

(2) 本時の学習 (学活)

①目標

- ・働くことや職業への興味関心を高めることで、働く目的や意義を考えることができる。
- ・働くことの大切さに気づき、様々な価値観を理解することができる。

②展開

時配	生徒の学習活動と予想される反応 (○) (☆)	教師の指導と支援 (●評価)	資料・用具
導入 (5分)	○本時のねらいを確認する ○働く理由について考えて発表する ☆お金をかせぐため ☆わからない	○「自分が将来働くとしたら、何のために働くのか、なぜ働くのか」について考える時間であることを伝える。 ○生徒の実態から、挙手はないと考えられる。挙手がなければ指名し、「わからない」「考えたことがない」等でもかまわないことを伝える。	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">なぜ、わたしたちは働くのだろう</div>		

<p>(35分)</p>	<p>・中生活と進路 p. 16, 17 の資料を参照</p> <p>○自分の働く理由が、資料の生徒 A～F のどれに近いと考え、3位まで順位づけをし、その理由も考える。</p> <p>A：個人志向 B：経済志向 C：社会志向 D：家族志向 E：名誉志向 F：安定志向</p> <p>○自分の3位までの順位づけとその順位づけにした理由をワークシートに記入する。</p> <p>○なぜその順位づけをしたのか、小グループ内で発表する。</p> <p>・働く理由についてみんなで話し合う</p> <p>☆やっぱり好きなことをしたい ☆お金がないと好きなこともできないと思う ☆リストラがない仕事がいい ☆お金もほしいけど、家族も大事にしたい</p> <p>○学級全体の意見を交換する</p>	<p>・資料は一斉に読む</p> <p>○資料や友達の意見を聞きながら、働くことの価値観にふれる</p> <p>●働くことに対するイメージを自分なりに持って学習に参加しているか</p> <p>○ワークシートを配布し、自分の考えに近い順に3位まで順位付けを行い、その理由も考えて記入するよう声をかける。</p> <p>●自分なりに、様々な働く理由について考えることができたか</p> <p>・司会者と記録者を決め、活動に取り組むよう声をかける</p> <p>・活動に積極的に取り組ませるために、班の意見が他の班の人にもしっかり伝えることができるように、わからなければ発言者に質問をするよう伝える。</p> <p>・机間指導をしながら、参加できていない生徒には声をかけたり、意見交換が進んでいない班があれば司会者を決めるなどの支援をする。</p> <p>・友達の話聞くポイントを伝える</p> <p>○班の中の話し合いで出た意見などを学級に伝えるために、各班から1名に発表させる</p> <p>・働くことへの自分の価値観を明確にするとともに、友達の価値観を知り、働くことの多様性を考えさせるために、質問</p>	<p>中学生活と進路</p> <p>ワークシート</p>
--------------	--	---	------------------------------

<p>まとめ (10分)</p>	<p>○自分は何のために働きたいと感じたか、友達の見解を聞いて感じたことなどをまとめる。</p>	<p>や意見があれば、聞く。 ●自分とは違う価値観についても、理解できたか</p> <p>○ワークシートに、本時の授業で考えたことを結論としてまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が働く理由について考えを深めることができたか、自己評価をさせる。 <p>○教師の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が働く理由は一つではない ・理由が同じでも、就く職業は同じではない ・職業が同じでも、理由は人それぞれである 	
----------------------	--	--	--

なぜ、わたしたちは働くのだろう

1年()組()番 氏名

自分が職業を選ぶ場合、下の「働く理由」のどれを重視するか3位まで順位をつけ、なぜ、その理由が重要なのか、(または順位がつかなかったものが、なぜ重要ではないのか)理由を書きましょう。

※

意見	働く理由	順位	この順位にした理由 (順位をつけなかった理由)
Aさん	自分の好きなこと、得意なことを生かせるから		
B君	収入が多くて、経済的に豊かな生活ができるから		
Cさん	世の中や人々のために尽くせるから		
Dさん	一番大切な家族を守ることができるから		
E君	名誉や地位を手に入れ、有名になれるから		
Fさん	平凡でも、安定しているから		
(その他)			

いろんな人の「働く理由」を聞いて感じたことや、自分の考えをまとめてみよう

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

【自分の取り組みの評価をしてみよう！】

- 今日の授業に積極的に参加することができましたか。 はい まあまあ あまり いいえ
- 働くことの大切さを感じることができましたか。 はい まあまあ あまり いいえ
- 人が働く理由について、友達の意見を聞くことができましたか。 はい まあまあ あまり いいえ
- 人が働く理由について、考えを深めることができましたか。 はい まあまあ あまり いいえ

【進路や職業に関するアンケート】

このアンケートは、みなさんの今の実態を知るためのものです。どのような回答をしても、成績には全く関係ないので、直感で答えてください。意味のわからない言葉があれば質問してください。

(4:とてもあてはまる 3:まあまああてはまる 2:あまりあてはまらない 1:とてもあてはまらない)
の4段階で評価してください。

番号	項目	評価
1	将来の夢がある	4・3・2・1
2	将来就きたい職業がある	4・3・2・1
3	行きたい高校がある	4・3・2・1
4	いい高校に行きたい	4・3・2・1
5	5年後の自分について考えている	4・3・2・1
6	10年後、20年後の自分について考えている	4・3・2・1
7	目標を持って学習に取り組んでいる	4・3・2・1
8	人がなぜ学ぶのか、その理由を考えたことがある	4・3・2・1
9	人がなぜ働くのか、その理由を考えたことがある	4・3・2・1
10	将来の生き方について考えている	4・3・2・1
11	これからの人生の見通しがたっている	4・3・2・1
12	豊かで充実した人生を送りたい	4・3・2・1
13	将来のことや進路のことについて知りたい(学びたい)	4・3・2・1
14	将来のことについて、親と話をする	4・3・2・1
15	将来のことについて、友達と話をする	4・3・2・1
16	自分の経験は、大人になったときに役立つ	4・3・2・1
17	職業や働くことに対して興味・関心がある(知りたい)	4・3・2・1
18	職業や働くことについては、少し知識がある	4・3・2・1

以下の質問には、自分の思うことを答えてください。

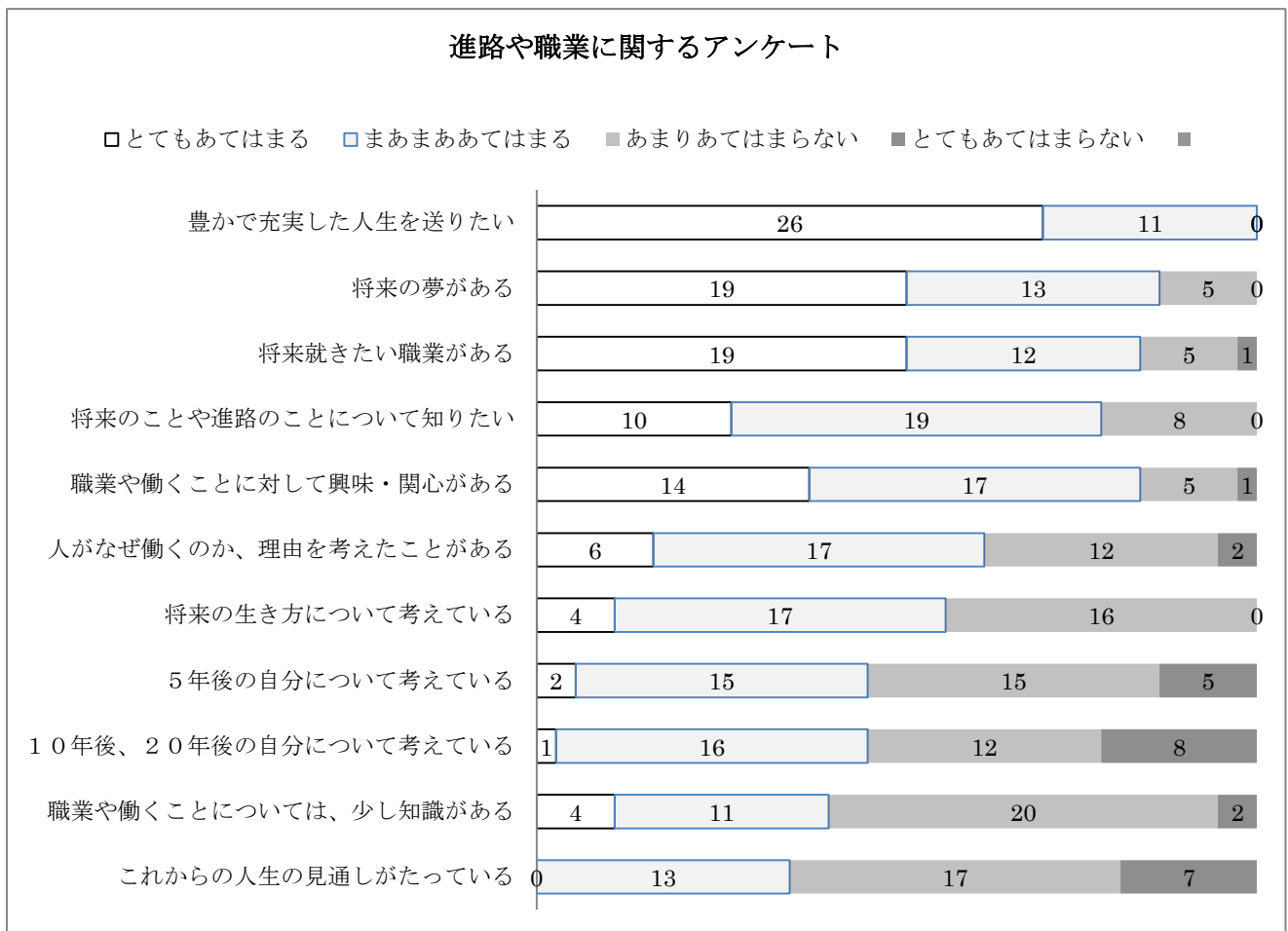
1. 「いい高校」とはどういう高校ですか。

2. 自分が知っている職業を、思いつく限り書いてください。

1年()組()番 氏名

※生徒用配布資料

10月に行った、進路や職業に関するアンケートの結果



この結果から

いい人生を送りたい

夢がある

なりたいものがある

働くことに興味がある

数年後の自分はわからない

10、20年後の自分はわからな

人生に見通しが持てない

働くことの知識がない

けど

ということがわかる。